

建設産業委員会

(参加議員) 齋藤一信 東川三郎 大月隆司
坂本公明 仁科文秀



10月
31
11月
1~2

海水の淡水化で 水をまかなう



福岡地区水道企業団

海水淡水化センター「まみずピア」を視察しました。
福岡市の水不足を解消するために建設された海水を真水にする海水淡水化施設です。

福岡市街地の水需要の約4割をまかなっています。
淡水化される水は日量最大5万立方メートルにのぼり、生産水は浄水場の浄水とブレンドした後、福岡都市圏の配水池へ送られます。

水道事業の広域化と 包括業務委託



宗像地区事務組合

安全で良質な水の安定供給が叫ばれる中、宗像地区事務組合は、水道技術の継承、水道施設整備大量更新に必要な財源確保、高い水道料金等課題解消を図るため、北九州市と水道事業包括業務委託を行いました。

今後の課題として、水道事業経営のための技術の継承（派遣協定により、期間が短期間）、包括業務委託諸経費の抑制、地元業者の育成等を挙げていました。

水道事業のPFI による包括委託



熊本県荒尾市

荒尾市では、上水道の施設維持管理から窓口業務までを一括して民間事業者に委託するというPFI法に基づく包括委託を行っています。委託業務の拡大と民間ノウハウの活用により、公費削減が期待できるとのことです。

事業継続に向け、官民相互のさらなる連携、水道利用者満足度向上のための事業経営が今後の課題です。



タブレット端末を導入しました

笠岡市議会では、12月定例会からタブレット会議システムを導入しています。これは、タブレットの活用による情報共有の迅速化、効率的な議会運営とペーパーレス化による環境負荷の軽減等を目的としています。

会議システムの利用対象者は、議員や市執行部（市長や各部長等）、議会事務局で、全員がタブレットを利用して本会議での議案等の審議や委員会での審査を行います。

用紙代や印刷代、資料の印刷製本に当たる職員の人件費等で年間約220万円の支出削減が見込まれます。

